

.....

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	アパート火災の対面放水により、第1線の保持者に水がかかり2階から転落の危険があった。
3. 体験した事例の中心的要素	火点を2線により前後から消火にあたった。第2線の放水が第1線の保持者にあたる。(火点は2階)
4. 体験した事例の原因・理由	火点であるアパートの1室には濃い煙が充満しており対面の視界がまったく無い状態であったこと。

.....

1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------------------

.....

1. 発生日時	平成 19 年 1 月 26 日 午前 5 時頃
2. 発生した当時の天候	曇
3. 発生した活動現場	屋外：アパート 2 階のベランダ
4. 体験した事例の種類	
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	その他：放水により転落の危険があった。
7. 事例体験時の活動	火災、現場活動初期、 [木造建物]
8. （7 の活動中） どのような作業中に発生したか	放水活動、
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[22]歳、勤続年数[4]年、現場経験年数[3]年、階級[消防士]、同様の活動 [1年に数度]、任務 []
○当事者B	年齢[25]歳、勤続年数[7]年、現場経験年数[6]年、階級[消防士]、同様の活動 []、任務 [その他：]
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 []
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	放水開始	第1線
経過2	当事者B	放水開始	第2線
経過3			
経過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】

.....

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できなかった。周囲の視界が確保できなかった。指揮者が適切に指示しなかった。他隊(員)との連携活動がうまくいかなかった。他隊(員)から適切な注意を受けられなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	はい
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	はい
・野次馬が多かった。	はい
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ	
-----	--

【事故発生後の取り組みについて】

.....

○**注意力欠如、焦り等の対策について**

とくに検討自体しておりません。事故発生時に筒先保持者が転落の恐れと焦りを感じたのみ。

○**装備・資機材の対策について**

装備、資機材に不備は無く事故の原因として排煙状況の悪さが目立ったので効率のよい排煙を検討

○**活動環境の対策について**

上記と同様に視界の確保が大切だった防御だけに、防御戦術に準じた排煙活動を検討し対策とした

○**指揮・情報伝達の対策について**

携帯無線機による情報交換を円滑にし、同時進行している活動に支障をきたさないようにする。